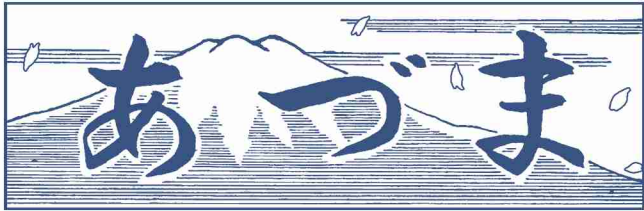


方面	南海トラフ地震対処TTX	(1面)
1師団	東・北富士演習場定期整備	(3面)
12旅団	総監初度視察	(4面)
1施設団	関山・相馬原演習場定期整備	(5面)
関東補処	駐屯地・関東処記念行事	(5面)



令和4年6月25日 第1049号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」
総監要望事項「克己」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙
発行所：方面総監部広報室
住所：東京都練馬区大泉学園町
専用線：8-37-2446



認識の統一を図る指揮官(左から旅団長、師団長、総監、関東補給処長)



総監訓話を熱心に聴講する最先任上級曹長



会場の説明をする東部方面隊 最先任上級曹長



少人数で行われたグループ討議

少人数で行われたグループ討議。7教育大隊最先任上級曹長高木准尉は「方面内の最先任上級曹長が一同に会して直接話をする機会は、大切であると実感した。グループ討議では各部隊の特性や同様の課題等を情報共有することができ、大変参考になった」と終了後に語った。

方面隊は5月24日・25日の両日、朝霞駐屯地において令和4年度第1回方面最先任上級曹長会同を実施した。会同には方面隷下各部

人材育成について熱い議論

方面最先任上級曹長会同

隊の最先任上級曹長が参加し、総監訓話、グループ討議、各部隊情報提供、

自分も中隊長時代に、ひと回り上の上級陸曹から

方面施策説明等が実施された。総監は訓話において、最先任上級曹長の役割で重要なことは「上意下達、下意上達」と「後輩の育成」の2点である。指揮官との接し方においては、

耳の痛いことをたくさん言われて育ってきた。今ではとても感謝している。部隊経験は指揮官よりも皆の方が上なので、幹部を育てるのは自分たちだと自覚して接して欲しい。また後輩育成においては、

あるべきか、さまざまな観点から議論を深めて欲しい」と語った。グループ討議では「曹士業務陸曹の活用」及び「小部隊(分隊長)リーダーの育成について」を議題として2日間わたる活発な議論が交わされた。また総監部人事及び装備部から各種施策や隊務運営上の留意事項等について情報提供があり、

方面隊は5月18日、朝霞駐屯地において南海トラフ地震対処TTX(机上演習)を実施した。本演習は総監、師団長、関東補給処長、旅団長、施設団長、静岡地本長、

方面直轄部隊長等が参加し、総監部と隷下部隊指揮官の間における認識の統一を図り、実効性を向上させる目的で実施された。演習においては南海ト

ラフ地震の発生メカニズムや被害想定、これまでの南海トラフ地震対処計画の変遷、海空自衛隊及び米軍との共同等を含めた全般説明の他、時間推移を踏まえた各部隊の行

動について認識の統一を図った。また後発地震発生時の部隊転用や荒天時における機動等、さまざまな課題、問題についても共有され、地震発生時の備え及び6月下旬に実施する統合防災演習(JXR想定・南海トラフ地震対処)準備のための資となった。

南海トラフ地震対処TTX 巨大地震に備え認識を統一

ドラマ「テッパチ！」撮影に協力



らっぱを吹奏するエキストラ隊員の撮影



エキストラ隊員へ説明するテレビクルー

方面隊は5月中旬から、方面管内の各駐屯地や演習場等において、7月から放送開始予定のフジテレビ系列ドラマ「テッパチ！」の撮影協力を実施している。このドラマは陸上自衛隊を舞台に青年たちの成長と熱き思いを描いた物語で、主人公に町田 啓太さん、同期役に佐野 勇斗さん、教官役に北村 一輝さん、白石 麻衣さんらが出演する。

今回は防衛省の全面協力により、自衛官によるエキストラ以外にも車両・ヘリコプター等の装備品も登場し、迫力満載のダイナミックな映像にも注目が集まる。

方面隊は5月中旬から、方面管内の各駐屯地や演習場等において、7月から放送開始予定のフジテレビ系列ドラマ「テッパチ！」の撮影協力を実施している。このドラマは陸上自衛隊を舞台に青年たちの成長と熱き思いを描いた物語で、主人公に町田 啓太さん、同期役に佐野 勇斗さん、教官役に北村 一輝さん、白石 麻衣さんらが出演する。

防衛省全面協力によるダイナミックな映像に注目

さいたまスーパーアリーナで 屋外コンサート



迫力ある演奏で来場者を魅了した第1音楽隊



多くの来場者が詰めかけた「けやき広場」

方面隊は5月17日から、さいたまスーパーアリーナけやき広場において東部方面音楽隊、第1音楽隊、第12音楽隊、陸上自衛隊中央音楽隊、在日米陸軍音楽隊等による屋外火曜コンサートを主催している。今後の演奏予定は下表のとおり。予約等は不要なので、より多くの方々にご来場いただき、音楽隊の演奏を楽しんでほしい。

令和4年度さいたまスーパーアリーナ屋外火曜コンサート

月	日	曜	時間	場所	出演部隊
6	28	火	12:10 ~ 12:50	さいたまスーパーアリーナ けやき広場	第12音楽隊
7	26	火			東部方面音楽隊
8	30	火	12:50	さいたまスーパーアリーナ けやき広場	第12音楽隊
9	6	火			陸上自衛隊中央音楽隊
9	13	火			東部方面音楽隊
	27	火			米国空軍太平洋音楽隊

当日は天候に恵まれ、GW期間ということもあり多くの来場者が訪れ、車両体験搭乗、体験喫食、装備品展示を楽しんだ。実際に雷敷設置装置の車上（乗車用のカゴ）を設置して約2キロのコースを回り、その乗り心地と駐屯地内の風景を楽しんだ。また体験喫食では戦闘糧食の「ハヤシハンバーグ」を喫食し「思っていたよりもおいしい」と子どもたちにも好評であった。さらに装備品展示では野外手術システム及び救急車を展示し、隊員による説明と乗車見学が行われた。参加者は「普段見ることができない装備品を間近で触れることができ、楽しかった。とても貴重な体験だった」と語った。



交通壕を前進するオピニオンリーダーたち



板妻駐屯地での記念撮影

オピニオン・東桜会富士地区研修 方面隊の活動に深い理解

方面隊は6月5日・6日の両日、板妻駐屯地、東富士演習場及び富士駐屯地においてオピニオンリーダー及び東桜会会員（1・2年目会員）に対し、第1師団訓練及び富士学校研修を実施した。研修初日は迷彩服に着替えた後、東富士演習場における1師団訓練検閲を見学し、厳しい環境の中での陣地構築や指揮所活動の状況を目の当たり

にして、終始圧倒されている様子であった。その後、板妻駐屯地資料館に移動し、熱海市における土砂災害に係る災害派遣に現地で活動した隊員からの講話を聞き、

当時の被災状況と必死の救助活動について深く聞き入っていた。2日目は富士駐屯地に場所を移し、市街地訓練場の研修や食堂喫食を体験した。

参加者の一人は「新型コロナウイルス感染症の影響で最近このような研修機会も減っていたが、今回は久しぶりに実現してもらいとても感謝している。訓練検閲や災害派遣の様子など、隊員が必死に任務に取り組む姿に感銘を受けた。今後この自衛隊の粘り強い

真摯な姿をできるだけ多くの人々に伝えていきたい」と語った。各会員は今回の研修を通じて、各部隊の特性及び任務等に関する理解をより一層深め、今後の活動の資とした。

広報センター こどもの日フェア 多くの子供たちがイベントを楽しむ



94式水際地雷敷設置装置の体験搭乗

広報センターは5月4日・5日の両日、朝霞駐屯地広報センター「りっくんランド」において、こどもの日フェアを実施した。当日は天候に恵まれ、GW期間ということもあり多くの来場者が訪れ、車両体験搭乗、体験喫食、

装備品展示を楽しんだ。実際に雷敷設置装置の車上（乗車用のカゴ）を設置して約2キロのコースを回り、その乗り心地と駐屯地内の風景を楽しんだ。また体験喫食では戦闘糧食の「ハヤシハンバーグ」を喫食し「思っていたよりもおいしい」と子どもたちにも好評であった。さらに装備品展示では野外手術システム及び救急車を展示し、隊員による説明と乗車見学が行われた。

方面隊は5月28日に実施された令和4年度富士総合火力演習に隷下部隊を参加させ、陸自最大の実弾演習を支援した。富士総合火力演習は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響から一般公開は中止となったが、現在YouTube陸上自衛隊広報チャンネルでの配信が行われている。 関連 56面



高機動車を整備する東部方面後方支援隊の隊員

陸自最大のイベント 富士総合火力演習の成功に寄与



オートバイを整備する東部方面後方支援隊の隊員



油圧ショベルを整備する東部方面後方支援隊の隊員



患者発生に備える富士病院の隊員

第1師団

練武の地 整備完了!

演習場機能の維持向上・長期安定使用に寄与

師団は4月11日から22日までの間、東富士演習場において、演習場機能の維持・向上及び長期安定使用に「令和4年度春季東・北富士演習場定期整備」を実施した。

本整備は北富士整備隊長(第1普通科連隊長)以下、約1200人が参加し、戦車等経路の改修、B射場の戦闘射場化、排水設備を重視した訓練施設及び機動路等整備を実施した。また弾着区域における防火帯作成、管理施設及び演習場通信用回線等に対する特定工事についても整備し、任務を完了した。

15日には師団長が整備状況を点検し、運用二一スに基づき整備されているかを確認するとともに、整備に従事した隊員を激励・慰労した。

優秀隊員紹介
【第1普通科連隊長】 荒川士長
【本部管理中隊長】 太田士長
【第1中隊長】 箸本士長
【第2中隊長】 清水士長
【第3中隊長】 古谷士長
【第4中隊長】 中村士長
【第5中隊長】 田中士長
【重迫撃砲中隊長】 松本3曹
【第1整備大隊】 山本士長
【第2整備大隊】 金子士長
【輸送隊】 永沼3曹
【第1偵察戦闘大隊】 菅川士長
【本部管理中隊長】 高橋士長
【第3中隊長】 大西3曹
【第1通信大隊】 滝尾士長
【第1飛行隊】 大成士長
【第1特殊武器防護隊】 内藤2曹
【第1音楽隊】 藤原2曹

師団は4月15日、北富士駐屯地において「令和4年度第1回中隊長等集合訓練」を実施した。本訓練は中隊長等に必要な識能を付与するとともに、師団長企図の徹底を図り、今後の職務遂行に資することを目的とし、

師団は5月10日、司令部作戦室において首都圏の防衛・警備に関し、師団隷下部隊の認識を統一して迅速かつ円滑な任務遂行を可能とする態勢を構築することを目的に机上演習(TTX)を実施した。

本演習は首都圏の特性を踏まえた防衛・警備に関する各部隊の具体的な運用や課題等について討議を主体に実施した。本演習を通じて師団の任務遂行能力強化のための資を得た。

師団は4月25日・26日の両日、練馬駐屯地において「令和4年度師団射撃指導者集合訓練」を実施した。本訓練は各部隊の射撃指導者に対し、

射撃術、射撃予習の着眼、豪州における射撃競技会の成果等を教育して射撃の練成の方向性を案出することができた。また師団長訓話を通じて、中隊長は任務遂行の原動力として、座学、テーマに基づいたグループ討議・全体討議により、中隊長等の資質・識能の向上を図った。

射撃術、射撃予習の着眼、豪州における射撃競技会の成果等を教育して射撃の練成の方向性を案出することができた。また師団長訓話を通じて、中隊長は任務遂行の原動力として、座学、テーマに基づいたグループ討議・全体討議により、中隊長等の資質・識能の向上を図った。



射場の整地(第1施設大隊)



排水設備の工事(第1普通科連隊)

森下総監 1偵戦大を視察 隊務運営状況を報告



総監による訓示

第1偵察戦闘大隊は4月26日、朝霞駐屯地において森下総監の視察を受けた。本受察は新編直後の1偵戦大の隊務運営状況及び各種施設について報告するとともに、今後の戦力化の資を得ることを目的に行われた。

当初、大隊長による状況報告を行い、勤務隊舎や16式機動戦闘車の駐車場等の施設巡視を受けた。その後、駐屯地体育館において総監より「首都東京に第1偵察戦闘大隊があるということに、大きな意味があるという責任と部隊の誇りをもってしっかりと戦力化してほしい」と訓示を受け、隊員は今一度気を引き締めた。

首都防衛の備えに万全を期す TTXによる師団隷下部隊等と認識の統一を図る



各部隊長による計画の報告

師団は5月10日、司令部作戦室において首都圏の防衛・警備に関し、師団隷下部隊の認識を統一して迅速かつ円滑な任務遂行を可能とする態勢を構築することを目的に机上演習(TTX)を実施した。

本演習は首都圏の特性を踏まえた防衛・警備に関する各部隊の具体的な運用や課題等について討議を主体に実施した。本演習を通じて師団の任務遂行能力強化のための資を得た。



師団長(写真左)による現地指導

師団長は「隊員のやる気スイッチを押して現場の力を引き出すことができるのは中隊長だけである。隊員を信じて任務遂行のためまい進してほしい」と訓示した。

訓練に参加した第1普通科連隊第5中隊長藤田3佐は「討議において、各職種部隊の中隊長等と任務を



グループ討議を行う中隊長

師団は4月25日・26日の両日、練馬駐屯地において「令和4年度師団射撃指導者集合訓練」を実施した。本訓練は各部隊の射撃指導者に対し、

射撃術、射撃予習の着眼、豪州における射撃競技会の成果等を教育して射撃の練成の方向性を案出することができた。また師団長訓話を通じて、中隊長は任務遂行の原動力として、座学、テーマに基づいたグループ討議・全体討議により、中隊長等の資質・識能の向上を図った。

師団は4月25日・26日の両日、練馬駐屯地において「令和4年度師団射撃指導者集合訓練」を実施した。本訓練は各部隊の射撃指導者に対し、

射撃術、射撃予習の着眼、豪州における射撃競技会の成果等を教育して射撃の練成の方向性を案出することができた。また師団長訓話を通じて、中隊長は任務遂行の原動力として、座学、テーマに基づいたグループ討議・全体討議により、中隊長等の資質・識能の向上を図った。

令和3年度 隊務優秀部隊 34普連・1特防を表彰



第1特殊武器防護隊



第34普通科連隊

師団は「令和3年度隊務優秀部隊表彰」を実施した。本表彰は部隊の士気高揚に資することを目的としている。年度を通じて各部隊の訓練、サービス、検査の3分野において総合評価した結果を踏まえ、4月22日に第1特殊武器防護隊(練馬駐屯地)及び28日に第34普通科連隊(板倉駐屯地)を表彰した。



障害物を利用した射撃

師団は4月25日・26日の両日、練馬駐屯地において「令和4年度師団射撃指導者集合訓練」を実施した。本訓練は各部隊の射撃指導者に対し、

第12旅団

森下総監初度視察を受察

旅団の体制と改編に向けた取り組みを報告



総監の巡閲を受ける儀じよう隊

旅団及び相馬原駐屯地は5月17日、相馬原駐屯地及び相馬原飛行場において森下総監による初度視察を受察した。

航空機で飛行場に降り立った総監は、慰霊碑前において旅団長及び業務隊長の出迎えを受け、慰霊碑に献花した後、第12偵察隊及び第12音楽隊による栄誉礼及び儀じようを受けた。そして幹部挨拶の後に実施された状況報告では、旅団長が旅団の訓練状況及び国際任務を含む任務等の体制と改編に向けた取り組みについて報告した。併せて業務隊長が、駐屯地の特性

及び駐屯地サービスの概要や業務隊の事業促進施策などについても報告した。

その後、総監は駐屯地及び飛行場の各部隊・各施設を巡視し、最後に駐屯地官舎において訓示した。訓示においては、旅団に対し「令和4年度は、9月中旬から国際任務待機があるため、その態勢をしっかり確立せよ。また令和6年度末の機動旅団化の改編を見据

え、機動旅団として戦力化完整に向けて全力で取り組んでもらいたい。全隊員が旅団の地位、役割を深く認識し、また令和4年度末の改編を踏まえ、即応態勢の充実、作戦遂行能力の向上、作戦基盤の充実を図り、任務遂行・隊務運営にまい進することを期待する」と述べた。また業務隊長に対しては「それぞれが担する業務が隊員の団結・規律・士気に直接影響を

及ぼす極めて重要なものであることを深く認識せよ。作戦基盤を担う責任と誇りを自覚し、作戦能力の向上に努めることを期待する」と述べた。最後に「第12旅団が坂本旅団長を核として、旅団長要望事項である『挑戦』『組織的』『強靱な東部方面隊の創造』のために一丸となって益々職務に精励することを期待する」と述べ、駐屯地を後にした。

して、隊長要望事項である『即応・即動』『一歩前へ』をもって部隊、隊員、家族のためにこれまで以上に各種支援を積極的に実施してもらいたい。ここに所在するすべての諸官らが、『強靱な東部方面隊の創造』のために一丸となって益々職務に精励することを期待する」と述べ、駐屯地を後にした。

候補生から自衛官へ 試練乗り越え候補生課程教育終了へ



空包射撃訓練を実施する自衛官候補生（宇都宮駐屯地）

4月から行われていた自衛官候補生課程教育も約3カ月の期間が経過した。あどけなかつた自衛官候補生は、一回りも二回りも成長し、面持ちも凛々しくなった。自衛官として必要な知識を身に付けるため、入隊式を皮切りに始まった教育は、基本教練、小銃の分解結合、個人装具を

身に付けた10キロ行進、戦闘訓練、催涙ガス体験などが段階的に実施された。総合訓練においては、これまでの練成訓練の成果を発揮し、25キロの徒歩行進に引き続き攻撃等を実施して目標奪取を達成した。自衛官候補生は6月下旬に各駐屯地で行われている全ての教育を終了する。自衛官は各職種に応じて部隊勤務に必要な特技を取得するため新たな任地へ赴き、自衛官としての一歩を歩みだす。

本演習場整備は運用構想に基づく演習場機能の維持・向上及び長期安定使用に寄与する目的で実施された。旅団から参加した各部隊は新型コロナウイルス感染症拡大防止の処置を万全にすつ、機道路の除草、排水設備及び各種射場の改修・整備などを実施した。参加した旅団隷下各部隊は、演習場機能の維持・向上及び長期安定使用に寄与するため、整備を整齊円滑に実施し、遅滞することなく与えられた任務を完了した。



基本射場のフラット化工事を実施する第12施設隊

旅団は5月17日から28日までの間、相馬原演習場及び関山演習場において実施された令和4年度方面隊春季演習場定期整備に旅団隷下各部隊を参加させた。

春季演習場整備に参加 演習場機能の維持・向上に貢献

旅団は5月17日から28日までの間、相馬原演習場及び関山演習場において実施された令和4年度方面隊春季演習場定期整備に旅団隷下各部隊を参加させた。

本演習場整備は運用構想に基づく演習場機能の維持・向上及び長期安定使用に寄与する目的で実施された。旅団から参加した各部隊は新型コロナウイルス感染症拡大防止の処置を万全にすつ、機道路の除草、排水設備及び各種射場の改修・整備などを実施した。

参加した旅団隷下各部隊は、演習場機能の維持・向上及び長期安定使用に寄与するため、整備を整齊円滑に実施し、遅滞することなく与えられた任務を完了した。

教育スローガン Practice makes perfect. 練習が完成を生む。



練成中のレンジャー教育隊学生と助教

旅団は4月25日から7月15日までの間、高田駐屯地、関山演習場、大日原演習場等において第2普通科連隊長を担任官として、令和4年度旅団レンジャー集合教育を実施中である。本教育はレンジャーとして必要な知識及び技能を修得させるとともに、必要な資質、特に強靱な体力及び精神力を養う目的としている。このため事前に実施された資格検査を突破した27

己の限界に挑戦

任官は「困難に挑戦し、克服せよ」、「パディを信じ、同期に尽くせよ」、「安全管理を徹底せよ」の3点を要望するとともに、以後行われた訓話において「覚悟を持って技

術を磨き、将来かけがえない存在となるパディを大切にしたい」と述べ、学生を激励した。今後、学生はさまざまな訓練を通じ、困難に直面し、また己の限界に挑み、同期とともにそれら乗り越えてゆく。

主任教官の2普通科連隊長は「教育準備を万全にして安全管理を徹底し、後輩育成及び部隊精進を図りたい」と意気込みを語った。

第12旅団YouTubeチャンネル開設



記念行事から配信開始

旅団は4月19日、YouTubeチャンネル「公式チャンネル 第12旅団」を開設し動画配信を開始した。

今回は3年ぶりに行われた旅団創立・駐屯地創設記念行事を配信し、一般開放をしなかった記念行事を動画で楽しんでもらうことを狙いとしている。

動画は旅団広報が主体となり各部隊の協力を得て作成し、第12通信隊写真班が編集した力作で、観閲式やオートパイドリルなど5本の動画を配信している。

今後も各種訓練や行事等を随時配信する予定であり、あづま読者の皆様も上記QRコードからぜひ、チャンネル登録を!!



戦闘訓練を実施する自衛官候補生（新町駐屯地）

必要の特技を取得するため新たな任地へ赴き、自衛官としての一歩を歩みだす。



催涙ガス体験を実施する自衛官候補生（松本駐屯地）

自衛官候補生は6月下旬に各駐屯地で行われている全ての教育を終了する。自衛官は各職種に応じて部隊勤務に必要な特技を取得するため新たな任地へ赴き、自衛官としての一歩を歩みだす。

演習場の訓練環境を整備 作戦基盤の充実に寄与

施設団は5月18日から27日までの間、関山演習場・相馬原演習場において令和4年度春季演習場定期整備を担任・実施した。

今整備では施設力を一元的に運用するとともに、方面演習場等運用・整備中期構想に基づく計画的な整備を実施して作戦遂行能力向上に資する演習場の最適化推進に寄与した。この際、施設技術の練度向上及び普及を図るとともに、積極的な民生品の活用による堅固な構造物の構築により、周辺住民の安全を確保し、作戦環境の醸成を図った。

主要な整備内容としては、演習場の機能向上を重視し、射場の改修・機



溜枳の補修



総監による現地視察

持のため、機動路の補修・排水設備の改修等荒廃箇所への復旧、民生品を活用した恒久的な整備を実施した。

整備間、安全管理を徹底し、事故防止に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底にも努めた。

総監の現地視察を22日には関山演習場を、次いで23日には相馬原演習場において受け、効果的かつ効率的な整備要領を報告するとともに、整備実施部隊に対する激励を受けた。

【フォロワー募集】
【Twitter】
【Youtube】

富士総合火力演習に参加 円滑な演習実施に寄与

施設団は5月28日、東富士演習場で実施された令和4年度富士総合火力演習に参加した。

団は演習場整備支援として参加部隊の使用する機動路・射場・宿営地等の整備を担当するとともに、演習実施部隊として92式地雷原処理車による障害処理を実施し、参加した隊員は、施設科特有の能力を最大限発揮し、円滑な演習実施に寄与した。



92式地雷原処理車の投射

高田駐屯地創設72周年記念行事

高田駐屯地は4月24日「高田駐屯地創設72周年記念行事」を挙行政した。

本年の記念行事は新型コロナウイルス感染症の流行により駐屯地一般開放及び祝賀会は実施せず、駐屯地所在隊員のみで実施した。

駐屯地司令は式辞で「何時如何なる任務が与えられようとも、事態に即応して任務を完遂し得る精強な部隊を創造し『信頼と感謝』を合言葉に地域の皆様と共に信頼される駐屯地を築きあげていく所存であります」と述べた。



巡閲する駐屯地司令



訓練展示の様子

駐屯地開設69周年 記念行事 決意を新たに前進誓う

関東補給処長兼ねて霞ヶ浦駐屯地司令は4月24日、霞ヶ浦駐屯地において「霞ヶ浦駐屯地開設69周年及び関東補給処創設24周年記念行事」を挙行政した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も駐屯地の一般開放は行わず、感染症対策を徹底し、規模を縮小しての開催となった。

司令は式典に先立ち行われた感謝状贈呈式で、部外の協力者及び協力団体に對し、日ごろからの支援・協力に感謝の意を表し、感謝状を贈呈した。

記念式典は走行試験場において行われ、土浦市副市長、阿見町長、土浦商工会議所会頭、茨城県議会議員、市議会議員等の来賓が臨席する中で整齊と実施された。

司令は来賓及び観閲部隊の前に「われわれは危機管理のプロとして、今日、明日生起するかもしれない事態を見据えた諸準備を、粛々と進めることと求められていることを強く認識せよ。諸官一人一人に至るまで常にさまざまな事態等に対応できるように、平素から訓練や業務の場においても、態勢を進化させることを期待する。国民の生命、財産及び領土を断固として守り抜くという気概を



式辞を述べる駐屯地司令



講堂で実施された感謝状贈呈式



車両による観閲行進に臨む駐屯各部隊

東・北富士 春季演習場定期整備 積極支援で整備に貢献

古河支処は4月13日から22日まで、古河駐屯地及び東・北富士演習場地区において、春季演習場定期整備に係る任務に当たった。

本任務は野整備部隊の要求に即応した補給整備により、演習場整備の整



102直接支援大隊指揮下で器材整備中の宮本土長

齊円滑な実施に寄与するとともに、FSA(前方支援地域)派遣を念頭に、おいた前方支援要領を演練することを目的として行われた。

支援隊は古河駐屯地に於いて、現地から請求された部品の補給等を行う古河支援班と、富士地区で技術援助等を行う富士支援班のそれぞれ5人からなる2コ班で編成された。また支援隊とは別に第102直接支援大隊へ1人の配置し、当該隊員の野



若年事務官等教育

若年事務官等教育

関東補給処は4月26日、霞ヶ浦駐屯地において若年事務官等教育を実施した。

本教育は若年事務官等に対し、初級事務官として必要な識能を習得させ、今後の業務遂行の資とすることを目的に行われた。

教育の前半は陸上自衛隊の概要や社会人としての心構え、マナー教育及び小平小学校人事教育部長による講話が行われた。後半には先輩職員との懇談が催され、被教育者は「業務で困ったときはどうしていますか？」等の質問を先輩職員に寄せ、今後の職務遂行の参考としていた。(写真)

駐屯地開設69周年 記念行事

霞ヶ浦駐屯地 公式ホームページ
https://www.mod.go.jp/gsd/ea/eadep

Twitter
フォロワー募集!!

後支援 総火演参加部隊を全力支援 影の立役者として奮闘

東部方面後方支援隊は、東富士演習場において、5月11日から28日までの「令和4年度富士総合火力演習」に対する野整



90式戦車を整備する隊員



120mm迫撃砲を整備する隊員



洗濯支援をする隊員

支援は富士教育直接支援大隊を基幹とした「東部方面後方支援整備支援隊」を編組し、今年1月から参加装備品の事前点検・整備を実施するとともに、部品の事前集積を5月までに完了させ、計画的に支援態勢を確立させた。

支援間、整備支援隊本部、補給隊等を会場近傍に、3コ整備隊を被支援部隊展開地域近傍にそれぞれ配置して、演習実施部隊の要求に即応した。

また補給隊として参加した第105全般支援大隊及び第101全般支援隊は、関東補給処から受領した部品を、整備隊に対して迅速に交付して部品交付までにかかる時間の局限を図り、装備品の早期復旧に努めた。さらに第103補給大隊により燃料交付、洗濯支援等の管理支援を実施し、総火演の基盤構築に寄与した。

後支援は昼夜を問わず支援を継続し、富士総合火力演習に対する支援任務を完遂するとともに、兵站支援能力を向上させた。

シ通群

陸曹候補生選抜2次試験実施 陸曹目指し35人が受験



2年ぶりに行われた対面での口述試験

東部方面システム通信群は4月25日から27日までの間、朝霞駐屯地において令和4年度前期一般陸曹候補生入校予定者選考及び第142期(第102期)陸曹候補生選抜2次試験を実施し、陸曹を目指す35人の隊員が受験した。



術科試験に臨む受験者

試験は副群長を試験委員長として、各試験官が「強靱な陸曹」を育てべく、体力検定、口述試験及び術科試験(分隊教練を公正かつ厳正に実施し、

評価した。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に万全を期すため、テレビ会議システムにより口述試験を実施したが、今年度は2年ぶりに全受験者を招集して対面による口述試験を実施した。

今回の口述試験では、以前より緊張感が増したものの、全般を通じ受験者が、はつらつと取り組み、日ごろの成果を遺憾なく発揮して2次試験に臨んだ。



グループリーダーと懇談する生徒陸曹候補生

混成団

「真に戦える陸曹」へ 生徒陸曹候補生課程グループ懇談

第3陸曹教育隊は4月、第10期生徒陸曹候補生課程(学生数81人)の教育を開始した。その際、部隊経験のない生徒陸曹候補生が区隊長や班長に打ち明けられない将来への不安や悩みを拭きさせることを目的とし、グループ懇談を行った。

生徒陸曹候補生たちは将来に対する希望や期待を持っている反面、部隊配置後の営内生活への不安や教育内容において悩んでいたが、隊本部要員からなるグループリーダーたちと懇談をしたり同期

第3陸曹教育隊は4月、に話すことにより、当初の硬い表情も消えて徐々に打ち解けていった。グループリーダーからの経験や同期の質問に対しては熱心に耳を傾け、また質疑応答において的確な回答を示されると、あどけなさが残る顔で大きくうなずいていた。

先輩たるグループリーダーとの懇談の結果、「真に戦える陸曹」となる生徒陸曹候補生たちの不安を拭きし、リラックスさせるという施策としての当初の目的は達成できた。

航空隊

日米同盟を強化 職種部隊間で研修



航空機展示の様子

航空隊は5月12日、立川駐屯地において在日米陸軍航空大隊(キャンプ座間)との職種部隊間研修を行った。

研修では航空隊の概要説明、意見交換、装備品展示などを実施し、

在日米陸軍との相互運用性の向上を図った。また意見交換では、日米の業務等に対する考え方の違いなどについて質疑応答を行い、交流を深めた。

研修後に航空隊長と



研修後の記念撮影
航空隊長(左)、在日米陸軍航空大隊長(中央)、航空隊副隊長(右)

在日米陸軍航空大隊長が懇談し、記念品の交換を行った。今後も研修等を通じて相互理解を推進し、信頼関係を構築するとともに、さらなる日米同盟の強化に寄与していく。

フォーラム21生活体験

民間企業トップが集結



基本教練を体験する参加者



野外訓練を体験する参加者

段のビジネススーツから戦闘服に着替え、基本教練、野外訓練等を体験した。特に野外訓練においては、天幕露営により就寝中のごとく早朝4時に

非常呼集がかり、約9キロの徒歩行進訓練から、ほく前進及び担架搬送による患者救護が連続して行われ、会員たちは慣れない経験であるに

静岡地本 模型ファン待望

3年ぶりのホビーショーで自衛隊紹介
自衛隊静岡地方協力本部静岡募集案内所は5月14日・15日の両日、ツイ



広報官の説明を聞く来場者

静岡市に集結するイベントで、一般来場者への公開は3年ぶりに行われた。当日は富士学校機甲科部、第34普通科連隊、海上自衛隊横須賀地方総監部(横須賀市)の支援を受け、16式機動戦闘車を

も関わらず全力を振り絞る目標を達成した。非常呼集時の命令下達においては「会員の家族が居住する地域も地震の被害があり家族の安否不明」と

訓練所感

東部方面後方支援隊 富士教育直接支援大隊 3等陸曹 中間 弘貴



富士総合火力演習支援

して必要な部品を見積り、部品交換及び完成検査を行って復旧させ、装備品の高可動維持に寄与することができました。本支援を通じて特に印象に残ったことは、演習参加火砲2門を翌朝の射撃開始までに復旧できたことです。前日21時に部品が到着してから夜通し整備を行い、なんとか翌朝6時30分の射撃開始時刻までに整備を間に合わせることができました。整備員として「被支援部隊のためには、何を

私は5月11日から28日までの間、火器整備陸曹として、令和4年度富士総合火力演習に参加しました。私の所属する富士教育直接支援大隊は、後方支援隊整備支援隊の基幹部隊であり、演習開始4力月前から総合火力演習に

神奈川地本 現役音楽隊員が訪校

昭和音楽大学で説明会

自衛隊神奈川地方協力本部溝の口募集案内所は4月22日、昭和音楽大学(川崎市麻生区)において陸・海・空自衛隊音楽隊による募集説明会を支援した。

中央音楽隊(朝霞)、海上自衛隊東京音楽隊(用賀)、航空自衛隊航空中央音楽隊(立川)の隊員が訪校して各隊20分ずつのプレゼンテーションを行い、その後、学生と現役隊員から語られる情

熱の込められたスピーチがあった。



入隊後の流れを説明する陸上自衛隊中央音楽隊の隊員

山梨地本 Web試験本格始動

自宅で筆記試験が可能に



口述試験を受験する受験者

自衛隊山梨地方協力本部は今年度最初となる予備自衛官補採用試験及び採用試験の筆記試験で、一般幹部候補生採用試験を実施し、予備自衛官補採用試験の筆記試験で、16日に身体検査及び口述試験を実施し、受験者は真剣な表情で臨んでいた。また口述試験では「大学在学中は予備自衛官補として教育訓練に参加し、卒業後は自衛官として入隊したい」「元々自衛隊に興味があり、働きながら自衛隊を経験できることに魅力を感じ受検した」など、受験者は熱い思いを語った。

ある! ある! 自衛隊

byともえ

写真じゃなくって、写真図鑑から上手なものはいいけど...

なお9月下旬には2回目の採用試験を予定しており、6月1日から受付を開始する。興味のある方は山梨地本までお問い合わせください」と語っている。

最先任 上級曹長

「やる気にさせる」 第1特科隊 三枝 英樹 准陸尉



令和4年3月14日付で、第1特科隊第6代最上級曹長に上番した三枝(さいぐさ)准尉です。

第1特科隊は山梨県唯一の部隊として、また第1師団の火力戦闘部隊として、第1特科隊長 大塚一佐

を最大限に発揮し、「弾先」に個の力を結集し、任務を完遂します。

また第1特科隊は「礼砲」という自衛隊唯一の任務を担っています。

「礼砲」とは国賓が来日する際に、空港等で4門の105mm榴弾砲を使用し、21発の空包を打ち、砲を空にして敵意がないことを示すもので、第1特科隊は誇りを持って任務を遂行しています。

私は最先任上級曹長に上番した際の挨拶で「部隊が日頃行っている厳しい訓練が抑止力となり、日本をそして家族を守っているということに誇りを持ち、やりがいを見出し、隊員自身が積極的に職務に取り組んだとき、計り知れない力が発揮できる。そして皆さんが退職するときに『自衛官で良かった』と思えるように充実した日々を送る手助けができればと思っています」と伝えました。

オピニオン 一言申し上げる 東方オピニオンリーダー 宝野 慶文



私は埼玉地方協力本部より推薦を受け令和元年よりオピニオンリーダーを務めさせていただいております。宝野と申します。

あるご縁で自衛隊の活動

に興味を持ち、委嘱年度当初はオピニオンリーダーの諸先輩方と富士総合火力演習や中部方面区研修などに参加させていただき、その後、その後は新型コロナウイルスの影響を受け約2年間、感染拡大防止のため行事や研修の中止が相次ぎ自衛隊を訪問できなかったことが残念でなりません。

しかしながら昨年末からは感謝状贈呈式や継続委嘱式も実施され、講話や研修等、様々な案内をいただき、これまでの空白期間を埋めるべく部隊等に足を運ぶことが

できるよくなりました。生活や仕事も徐々にコロナ前に戻りつつある6月初めに板妻駐屯地で迷彩服を着て戦闘糧食を食した後、1師団訓練検査中にもかかわらず演習場に作られた陣地や指揮所に足を踏み入れ、戦いの様相を間近で見ることができました。ウクライナや北朝鮮の情勢等により、人々の安全保障や防衛に係る関心が高まっている昨今ですが、日夜国土防衛のために訓練を積み重ねる陸上自衛官の姿に、あらためて深い感謝を受けました。また富士学校においては市街地戦訓練場やMCVを拝見し、映像等で見ただけであった現代戦を等身大で

努力家

「努力に勝る天才なし」 第2高射特科群 和田 陽花 陸士長

今月のフェアレディは、第2高射特科群第336高射中隊の和田陽花(はるか)士長です。

千葉県市川市出身の和田士長は、剣道やダンスなどを動かすことが大好きでいろいろな事に挑戦するアクレッシブな女性自衛官です。現在は中距離地对空誘導弾の発射手として首都圏の防空を担うため、日々訓練にまい進しています。

Q1・自衛隊に入隊した



きっかけは？

最初は自衛官であった両親の影響です。また富士総合火力演習や自衛隊音楽祭などのイベントを観望して、自衛隊への憧れが強くなり入隊しました。

Q2・高射特科を選んだ理由は？

富士総合火力演習で87式自走高射機砲の射撃

を見て興味を持ち、また新隊員教育隊で高射特科のPRビデオで射撃統制装置を操作する隊員を見て、高射部隊を熱望しました。

Q3・発射手として心掛けていることは？

野外行動能力を向上させること、器材をより正確に操作するために諸元や機能について勉強

し、十分に把握しておくことです。

Q4・休日は何をしていますか？

ショッピングが好きなので、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら同期や先輩と行きたいです。

Q5・今後の目標は？

陸曹になることです。小部隊の指揮官として後

東方男児 「思い立ったが吉日」 関東補給処 富士燃料出張所 倉兼 大希 陸士長



今月の東方男児は、関東補給処 富士燃料出張所の倉兼(くらかね)大希陸士長です。倉兼士

長は埼玉県の出身で、両親と兄2人の5人家族。平成30年に自衛官候補生として入隊し、今年陸曹候補生に指定されました。現在は保管整備係としてドラム缶の整備、充填等を行っています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？

家族全員が自衛官であり、幼い時から近くでその姿を見ているうちに、自然と憧れの気持ちが出て入隊に至りました。また災害派遣等に従事している人の助けになりたかったというのも入隊の動機です。

Q2・需品科を選んだ理由は？

現場において一般の人や隊員に寄り添いながら支援ができる職種はなん

だろかと考えたときに、糧食、燃料、入浴支援等が任務である需品科が一番いいと思い、需品科を選びました。

Q3・休日の過ごし方は？

同じ駐屯地に所在して

いる兄とイカ釣りに行ったりしています。また最近イタリア料理にはまっているので、先輩や後輩と飲食店巡りをしたり、買い物に行ったりしています。

Q4・今後の目標は？

フォークリフト教習や自動車教習所等に行き、資格を取得して部隊に貢献すること、体力検定で1級を目指していきたいです。また「思い立ったが吉日」の精神で、やる気と決めたなら明日に延ばさず、その日のうちに実行することを心掛け、自分に妥協せず日々精進していきます。

来年、陸曹となり活躍が見込まれる倉兼士長に期待します。

編集後記

テレドラマ「テッパチ」の撮影が始まりました。

東方面隊が撮影に協力するのは久しぶり。「今日の出演はどんな役者さんなんだろ？」撮影場所は、「どんなシーンを撮っているの？」「O3曹がエキストラで出るんだって！」等々、事務室にワクワク感が漂っている。

しかしいざ撮影現場に立ち会ってみると、華やかな部分はほんのわずか、早朝から深夜まで過密スケジュールをこなすスタッフの多さに驚かされ、それは組織力により任務を達成しようとする自衛隊の演習とよく似ていることに気づく。ロケハンなどの現地偵察や関係部署との調整を行い、限られた予算の範囲で高価な撮影機材と出演料を賄うため効果的な撮影計画を組む。そして撮影・美術の担当から喫食手配をする制作等まで、監督の指揮のもとそれぞれの任務に基づき完全分業制で撮影に臨む。何一つ欠けても作品は完成しない。

7月からの放送以降、エンドロールの見方が変わるかもしれない。